
Jardim das Amoreiras ou Jardim Marcelino Mesquita

について

アモレイラス庭園 / マルセリーノ・メスキータ庭園 (Jardim das Amoreiras ou Jardim Marcelino Mesquita)
劇作家、詩人、そして作家として活躍したマルセリーノ・メスキータの名を冠するこの公園は、サン・マメーデ (S. Mamede) 地区の中にあります。

この場所は1759年に新たにつくりかえられ、ポンバル侯爵によって331本のクワの木 (アモレイラ) が植えられました。これはポルトガルの絹産業の刺激を意図したものです。当時、この広場の近くにある工場が絹産業の中心となっていました。この小さな庭園では、状態の良いクワの木をはじめ、素晴らしいイチヨウやサイカモアカエデなど、10種類の木を目にすることができます。

庭園の周りには、絹工場の工場主たちが住んだ18世紀の建物や、アモレイラス通り (Rua das Amoreiras) にある一連の装飾パネル、アモレイラス貯水池 (Mãe d'Água das Amoreiras)、水道橋の下にあるノッサ・セニョーラ・デ・モンセラテ教会 (Ermida de Nossa Senhora de Monserrate)、修復された工場の建物を使用したアルパド・スゼンヌ ヴィエラ・ダ・シルヴァ美術館 (Museu Arpad Szénes-Vieira da Silva) があります。この美術館は、ポルトガルの現代アーティストであるマリア・ヘレナ・ヴィエラ・ダ・シルヴァとその夫であるハンガリー人画家アブラド・スゼンヌを記念した美術館です。

また公園内には、子どもの遊び場や小さな池があり、遊歩道や東屋も設けられています。

時刻表

出入り自由。

アクセス

バス
